

| インテーク   | アセスメント  |   | プランニング   |
|---|---|---|--|
| 情報の整理<br>(見たこと、聴いたこと、データなど：事実)  | 理解・解釈・仮説<br>(作成者のとらえたかた、解釈・推測)  |   | 支援課題<br>(支援が必要と作成者が思うこと)   |
| 本人の表明している<br>希望・解決したい課題   | 本人  |   | 対応・方針<br>(作成者がやろうと思うこと)  |
| <p><b>情報の整理</b><br/>(見たこと、聴いたこと、データなど：事実)</p> <p><b>(作成者のおさえておきたい情報)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の支援は本人の「卒業したい」という希望から一旦終結している。</li> <li>・(40代の男性として日常生活を営む力はあるが、)自分で家事をするのは大変と思っている。</li> <li>・書類や事務手続きは手助けが必要と感じている。</li> <li>・新しい環境に慣れるのに時間がかかる。</li> <li>・Suicaで決済できるものはしており、オートチャージにしている。本人は残高を管理していない。</li> <li>・必要な時に必要なだけ親からもらう仕組みでやっている。</li> <li>・経済困窮の状況にない(給料+年金、父母の年金)。</li> <li>・仕事を続けたい意思がある。</li> <li>・リストラに遭うまで30年近く同じ仕事を続けていた。</li> <li>・職場の仲間を作ることができ、前職の仲間との交流もある。</li> <li>・仕事帰りの寄り道はひみつ。</li> <li>・転居の経験はあるが、同一市内。</li> <li>・都営住宅は親が転居したら住み続けることができない。</li> <li>・中学(特殊学級)の友だちや仕事関係の人など本人の交友関係はこの地域にある。</li> <li>・姉夫婦は県外だが月1度は来訪する。</li> <li>・父母の出身は沖縄。</li> <li>・先行きの不安をことごとくに口にしているが、帰る決意を口にしている。</li> </ul> | <p><b>理解・解釈・仮説</b><br/>(作成者のとらえたかた、解釈・推測)</p> <p><b>【生物的事実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の財産や家計を把握していないのは、経験がないためではないか。(支援があれば自ら管理できるのではないか)。</li> <li>・特にオートチャージのSuicaを使ったり、枠組みを決めず、親に管理してもらっていた。</li> <li>・新しい職場でできた仲間の影響で使うお金は増えたが、特に生活が破綻するようリスクは</li> </ul> <p><b>【心理的事実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立心やひとり暮らしをしたい気持ちはあるが、経験のなさやひとりで完遂するのが困難なことがあることが不安や自信のなさにつながっているのではないか。</li> <li>・不安や自信のなさは強く、大きな環境変化がある場合、慣れるには時間をかけた支援を要することもあるのではないか。</li> </ul> <p><b>【社会性・対人関係の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学卒業以来ほぼ一貫して定職についており、仕事が本人の重要なアイデンティティになっているのではないか。</li> <li>・趣味や楽しみ、自信のあることについては自分で広げる力があり、過度の関与は望んでいないのではないか。</li> </ul> | <p><b>支援課題</b><br/>(支援が必要と作成者が思うこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り本人の大事にすることが継続できる「独立」に向けたイメージづくり。</li> <li>・金銭や家計管理ができるようになるための支援(とそれでもなおかつ必要な支援の把握)。</li> <li>・家族の安心感と納得。</li> </ul> | <p><b>対応・方針</b><br/>(作成者がやろうと思うこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今度の本人の「独立」に向けたイメージづくりと本人に具体的に必要な支援の把握。</li> <li>→ひとり暮らしをしている先輩宅訪問</li> <li>→不動産さんに行ってみる。</li> <li>→親がしばらく帰省している間の様子把握。</li> <li>→グループホームの見学や体験。</li> <li>・本人が金銭や家計管理ができるようにする支援とそれでもなおかつ必要な支援の把握</li> <li>→本人の財産や家計について、親も交えて話しをする。</li> <li>→日常の暮らしに必要な収支を一緒に確かめる。</li> <li>→相談しながら、1ヶ月自分で支出を可視化してみる。</li> </ul> |
| <p>③</p>  |   |   |  |

今回大づかみに捉えた本人像(100文字程度で要約する)

「俺は47歳。リストラに遭ってつらい思いもした。やはり男の基本は仕事だからね。ちゃんと働き続けたい。」職場の仲間プライベートも楽しめるやつもできたしね。あと3年で50歳。いつかは独立していかなくちゃと思っていたけど、家は居心地がよくてここまできちゃった。でも、そろそろ本当に考えないと。だけど、やったことないから、わかんないしこわいんだよね。一緒に考えてくれますか？(ちなみにお金のことは納得がいかないだけなんだよ。)